

助成年度：平成 29 年度

[所属] お茶の水女子大学 基幹研究院

[役職] 助教

[氏名] 中久保 豊彦

[課題]

立地適正化計画と連動した排水処理・汚泥資源化システムの再編

[内容]

本研究では、立地適正化計画と連動した排水処理・汚泥資源化システムの再編を検討し、人口減少化における環境インフラ整備の方策を提案した、

課題1「汚水処理人口普及率を踏まえた生態リスク評価手法の構築」では、群馬県を対象地域として、2030 年度における汚水処理人口をシナリオで表現し、シナリオA（対策なし）、シナリオB（下水道区域への人口集積）、シナリオC（人口集積+浄化槽更新）下での洗剤の河川表流水中濃度、生態リスク（PAF, Potential Affected Fraction of species）を比較評価した。

課題2「環境施設の機能統合モデルの提案とそのエネルギーシステムの評価」では、ごみ焼却場の更新に際して下水処理場との隣接を図り、隣接の強みを活かしたシステムを提案し、同システムのエネルギー消費量、温室効果ガス排出量を評価した。